

浪江町復興スマートコミュニティ計画について

～EV(電気自動車)が“つなぐ”まちづくり～

福島県浪江町 副町長 本間 茂行

福島県浪江町の紹介



居住 人口等	825人
	539世帯

空間放射線量の低い地域の 避難指示を解除

(平成29年3月31日)

浪江町復興計画【第2次】より

「被災経験からの災害対策と復興の取り組みを
世界や次世代に生かす」

浪江町の課題

- 高齢者が多い
- 買い物環境が整っていない
- 公共交通がない（デマンドタクシーのみ）
- 医療環境が整っていない
（町営診療所 1、個人歯科 1）
- 一から始める「まちづくり」



浪江町復興計画【第2次】
（平成29年3月策定）

コンセプト

EV(電気自動車)が”つなぐ”地域の活力と安心 ～浪江町復興まちづくりスマートコミュニティ構築事業～

■ EVを活用することで・・・

- ・太陽光などの再生可能エネルギー電源で**動く**
- ・余った電気を**蓄える**
- ・蓄えた電気を**非常時に使う**ことができる



■ 将来的には・・・

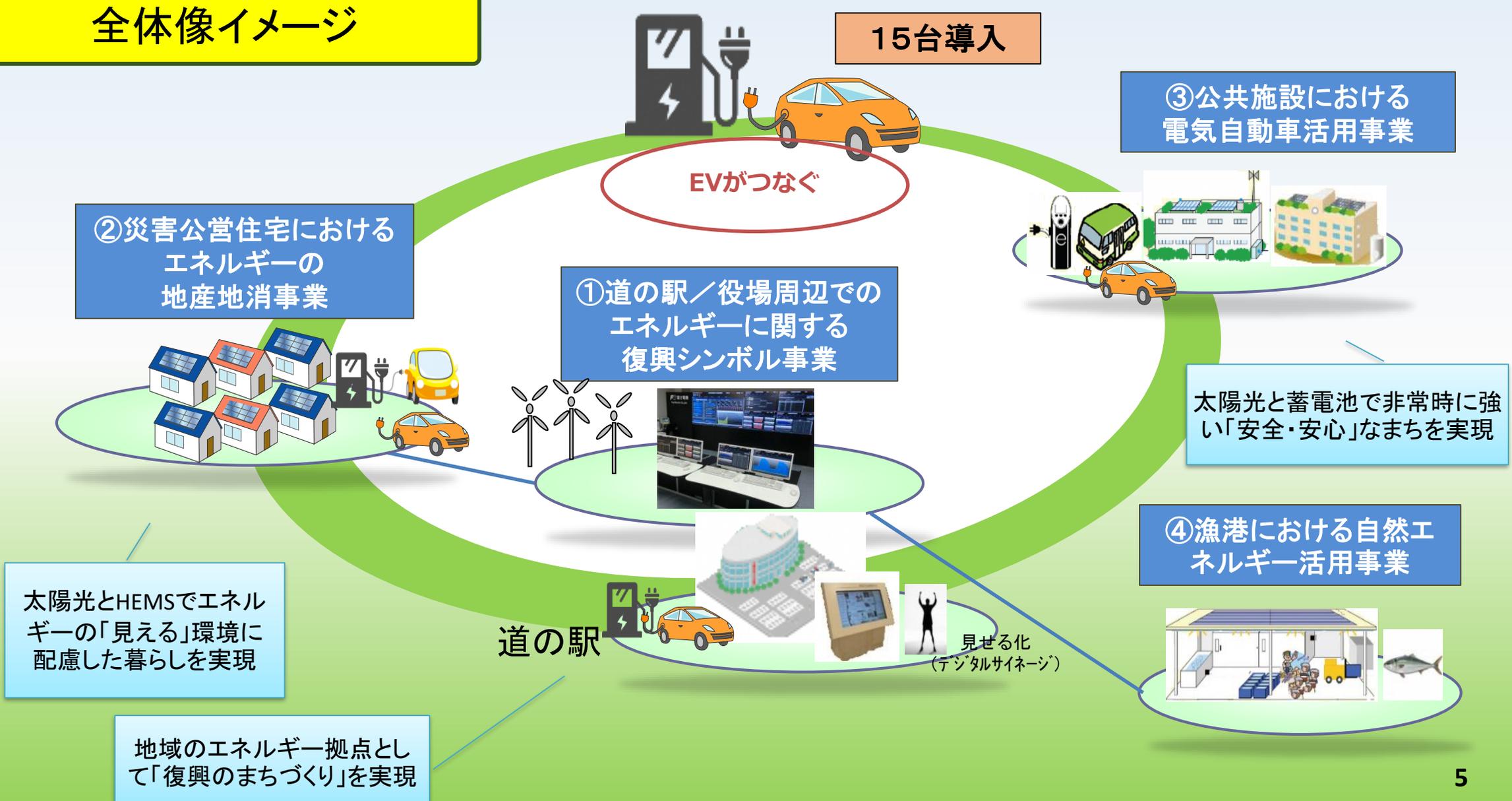
- ・カーシェアリングやデマンド型乗合タクシーを導入し、地域をつなぎます
- ・廃蓄電池の再生利用を含むビジネスモデルの構築を目指します
- ・自動運転の社会実験の導入を目指します

復興に向けた新しいまちづくりとしてスマートコミュニティの構築を目指します

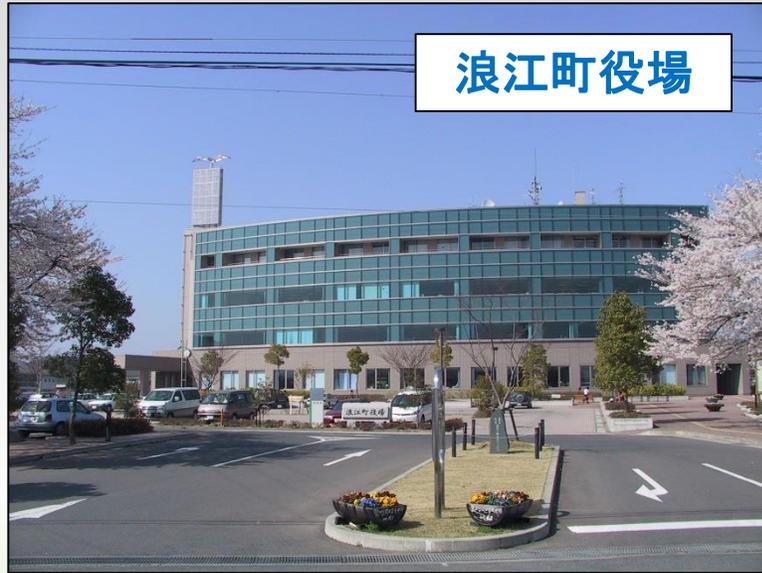
EV活用の先進のまちへ

浪江町復興スマートコミュニティ計画について

全体像イメージ



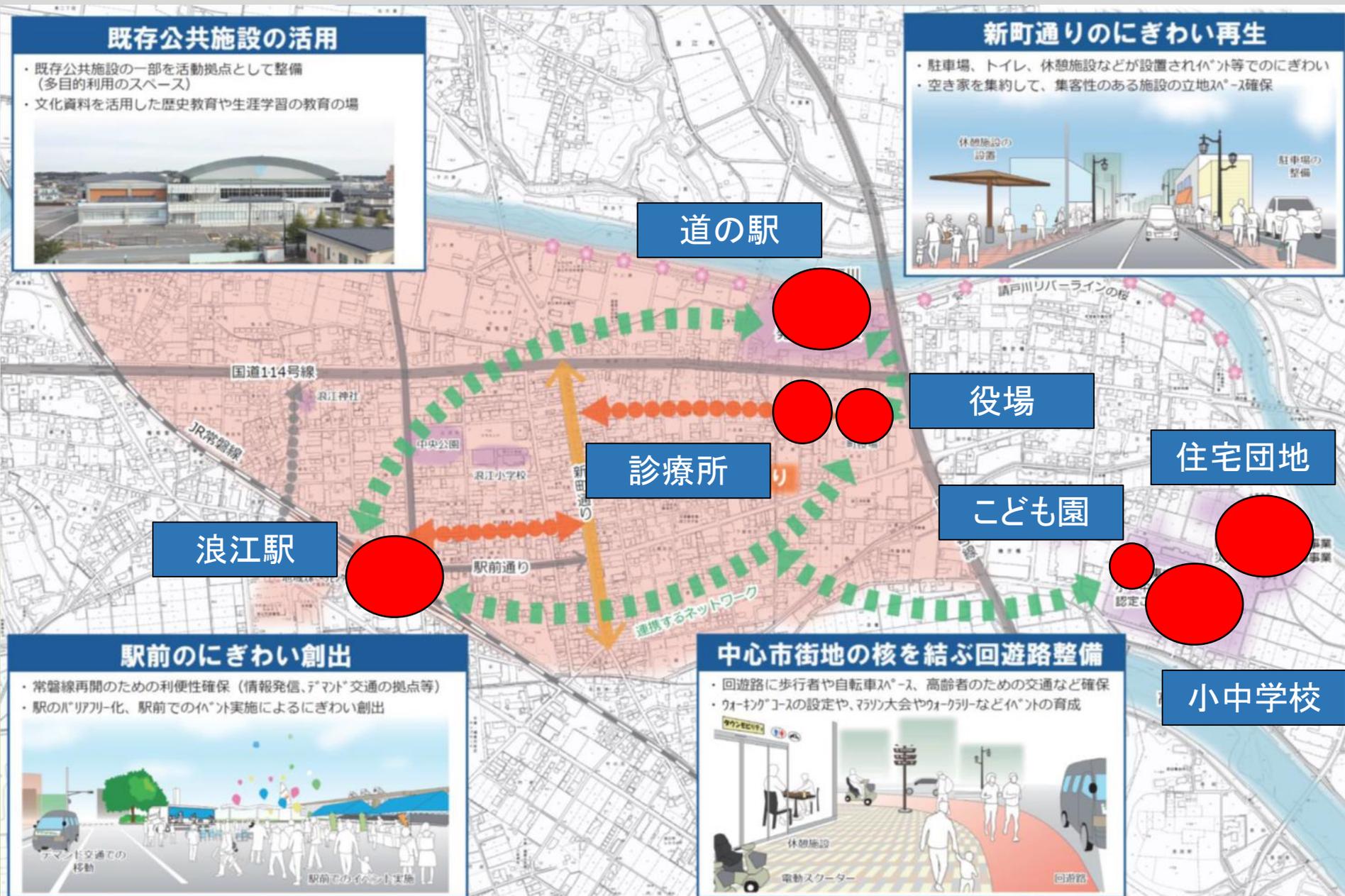
浪江町の主な拠点(1)



浪江町の主な拠点(2)



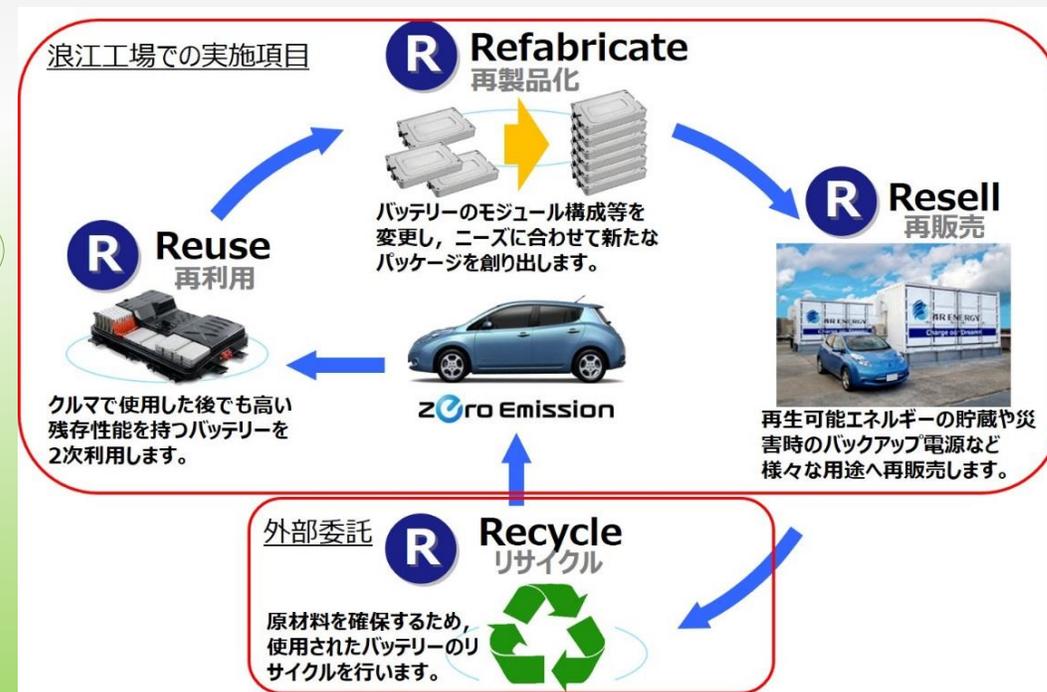
復興まちづくりのイメージ図(中心市街地)



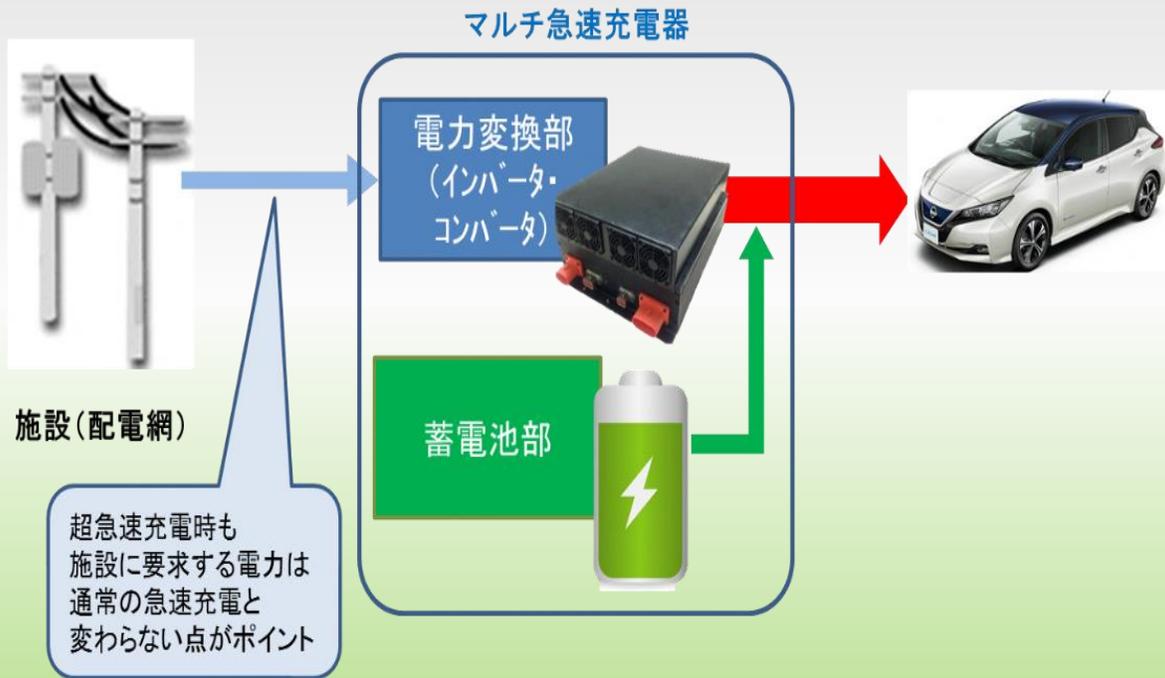
浪江町のチャレンジ ～協働によるまちづくりの推進～

- ・町の構想とフォーアールエナジー社がEVを通じて目指す姿が合致し、立地に繋がった
- ・まちづくりを行うパートナーとしてスマコミ事業にも参加

町と事業者が一体となったの
まちづくりを推進



マルチ急速充電器の開発



リボーンライトプロジェクト



地域に対する波及効果

～EV(電気自動車)が”つなぐ”地域の活力と安心～

■ヒトもの輸送の充実

- ・EVによるレンタカー、カーシェア、デマンドタクシーによる町民や来訪者の利便性向上
- ・交通弱者、通学的手段に活用
- ・町内の回遊性を高め、観光に寄与

将来案

■技術開発&雇用の場の創出

- ・リユース蓄電池の再生利用ビジネス
- ・自動運転の社会実験の導入
- ・水素燃料等の新エネルギー企業誘致
- ・イノベーションコースト構想との連携

地元企業等との連携

- ・まちづくり会社への運営委託
- ・デマンドタクシー等のタクシー会社への業務委託
- ・地域の観光産業との連携

浪江町の価値や魅力を高める
地域と歩む、新エネルギーのまちへ

浪江町復興スマートコミュニティ計画について

ご清聴ありがとうございました